



【宮沢賢治生誕120年記念】
童話村の森ライトアップ



宮沢賢治の作品に登場する色彩や情景の表現として用いられる、色とりどりの鉱石や架空と現実が入り交じる童話の世界を新しい素材の偏光フィルターとステンドグラスを用いて、ノスタルジックで落ち着きがあり、空想と夢想、自然と現実の入り交じる色とりどりのファンタジックな宮沢賢治の世界を表現。

【演出コンセプト】

『現実と幻想の狭間』

童話村の豊かな大自然のなかに宮沢賢治の世界感をイメージした風、光、植物、太陽、宇宙、森羅万象を意識した幻想的な景色を創出。

期間中、宮沢賢治 2 作品の
世界感を表現した装飾・演出を実施。



【エリア】
・妖精の小径
・山野草園池

【演出作品】
銀河鉄道の夜

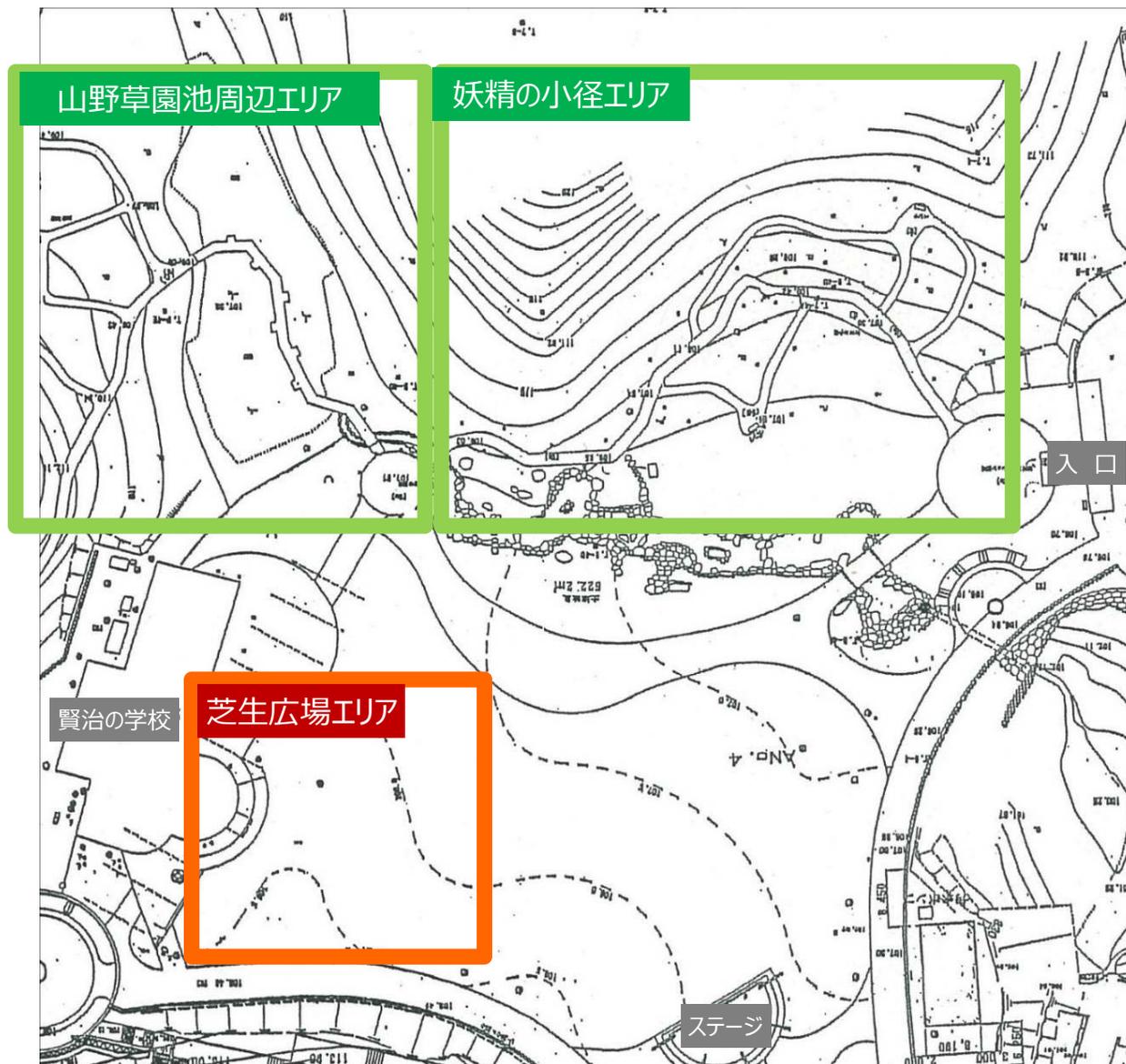
入口から妖精の小径、山野草園池へと続く沿路を『銀河鉄道の夜』の世界感を創出し、宇宙空間を演出します。



【エリア】
芝生広場

【演出作品】
どんぐりと山猫

賢治の学校をバックにした芝生エリアでは『どんぐりと山猫』の世界感を創出したオブジェを設置し、華やかな空間を演出します。

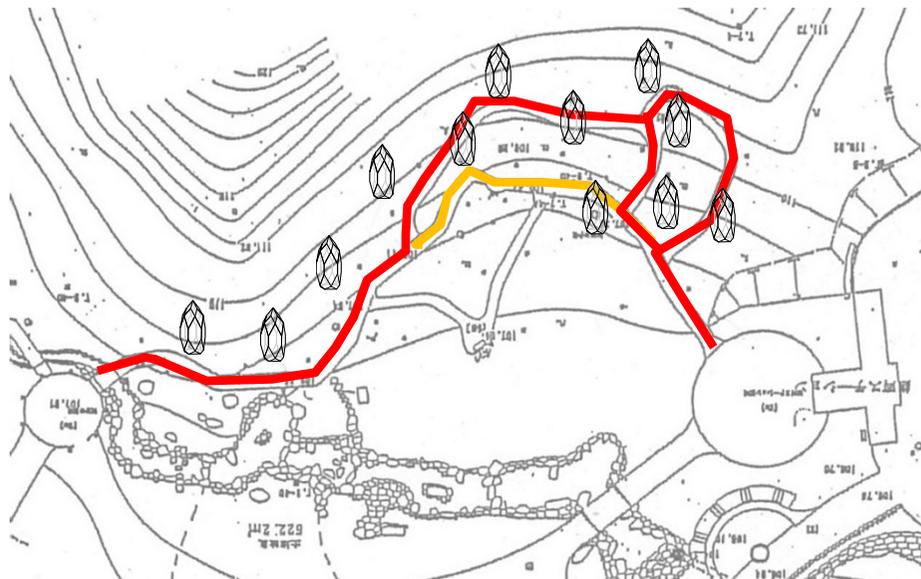


妖精の小径エリア①・②・③ 『銀河鉄道の夜』



いきなり目の前が、ぱっと明るくなって、まるで億万の螢烏賊の火を一べんに化石させて、そら中に沈めたといふ工合、
またダイヤモンド会社で、ねだんがやすくなるために、わざと獲れないふりをして、かくして置いた金剛石を、誰かがいきなりひっくりかへして、
ばら撒いたといふ風に、目の前がさあっと明るくなって、ジョバンニは、思はず何べんも眼を擦ってしまひました。
実はその光は、広い一本の帯になって、ところどころ枝を出したり、二つに岐れたりしながら、空の野原を北から南へ、しらしらと流れるのです。
(あの光る砂利の上には、気が流れてゐるやうだ。)

妖精の小径にある水銀灯のフットライトを活用し、足下のライト、導線の誘導の役割も兼ねた、見る角度により色が変化する偏光フィルターを貼り合わせたダイヤモンド型（作品に登場する金剛石のイメージ）のオブジェを設置します。



※展開イメージ



偏光フィルターは明るい面がミラーのように反射性のある性質なので、向かい合わせた面は合わせ鏡のように無限に反射し続ける世界が広がります。そこに細かい光の演出をすると、これらダイヤモンド型オブジェの一つ一つに宇宙空間が広がります。昼間の間は外部が明るいので、鏡のように輝くオブジェとなります。



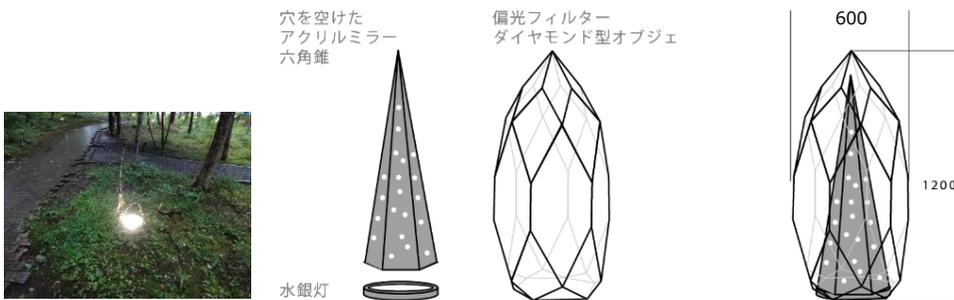
※変更フィルター参照写真（過去実績作品より）



※2015年アークヒルズXmas演出



※2016年江ノ島バレンタインアイランド演出



【ダイヤモンド型オブジェ】
・W600×H1200mm：1 2 体

※既存水銀灯のサイズ感、仕様確認後調整

偏光フィルターのもう一つの特徴として、見る角度や光の加減で色が変わります。同じ素材でも飽きる事無く、一つ一つを楽しむことができます。

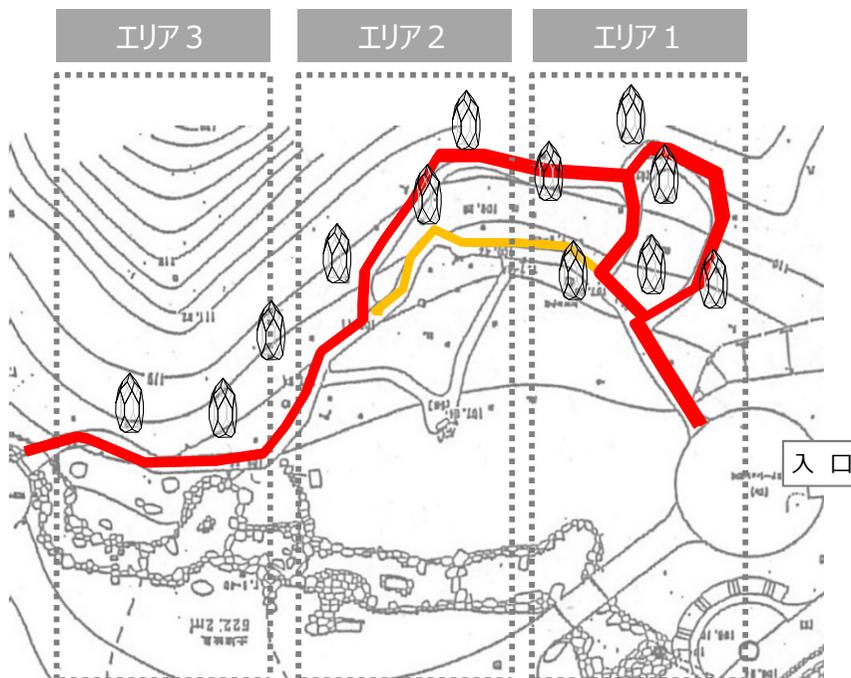
※詳細の設置方法は現場の状態や条件により変更になる場合があります
※基本計画から制作まで時間がない為、多少の仕様変更をする場合があります

偏光フィルターを貼り合わせたダイヤモンド型のオブジェに加え
エリア全域にミラーボール（約10個～20個程度）を設置し、宇宙空間を創出。

【エリア 3】

光量の強いサーチライトとミラーボールを使用して無数のひかりの粒を演出します。風の揺らぎだけで動く光の粒は、同じ動きをすることがなく、高い位置に生い茂る葉たちに写り込み、樹々の影も強調され、写真には納まらないとても広い光の空間になります。

エリア 3イメージ



【エリア 1】

深い青に染めた森のなかにミラーボールを使用して細かい光の反射の粒を樹々や地面に落とし幻想空間へと誘います。

エリア 1イメージ



エリア 2イメージ

【エリア 2】

紫から赤い森のなかに偏光フィルターのオブジェを空中にも展開して様々な色合いの光を展開します。



※詳細の設置方法は現場の状態や条件により変更になる場合があります
※基本計画から制作まで時間がない為、多少の仕様変更をする場合があります

山野草園池エリア④ 『銀河鉄道の夜』

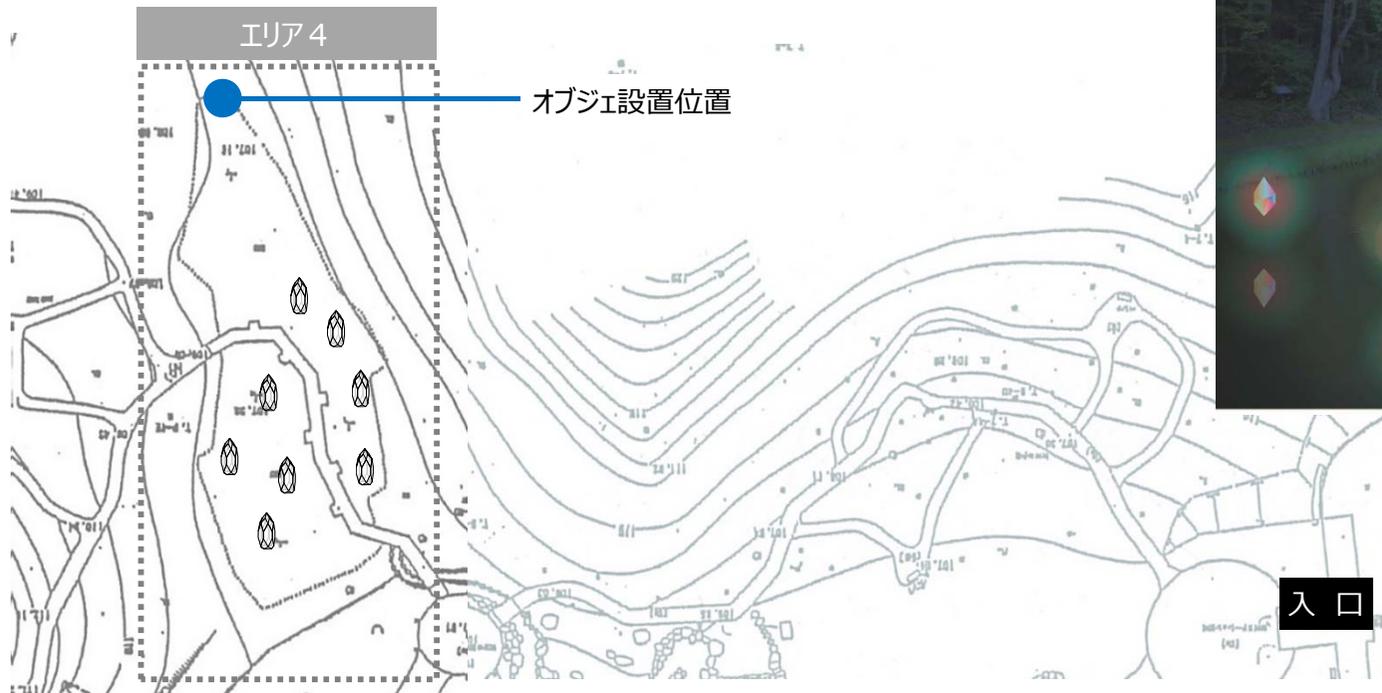


「さあもう支度はいゝんですか。じきサウザンクロスですから。」

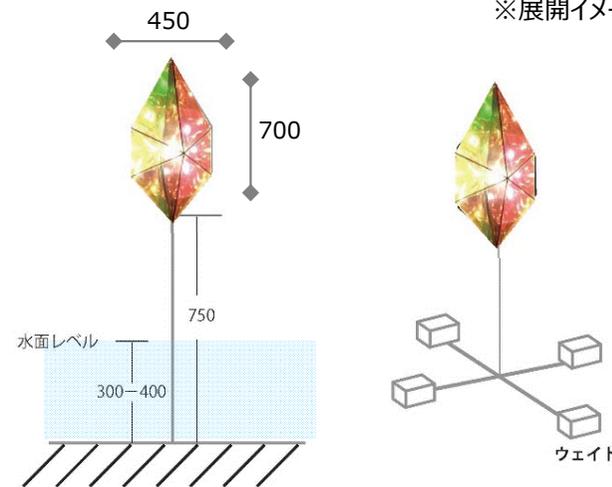
あゝそのときでした。見えない天の川のずうっと川下に青や橙やもうあらゆる光でちりばめられた十字架がまるで一本の木とふ風に川の中から立ってかゞやきその上には青じろい雲がまるい環になって後光のやうにかかってゐるのです。汽車の中がまるでざわざわしました。みんなあの北の十字のときのやうにまっすぐに立ってお祈りはじめました。あっちにもこっちにも子供が瓜に飛びついたときのようなよろこびの声や何とも云ひやうない深いつゝましいためいきの音ばかりきこえました。

【エリア 4】 山野草園池

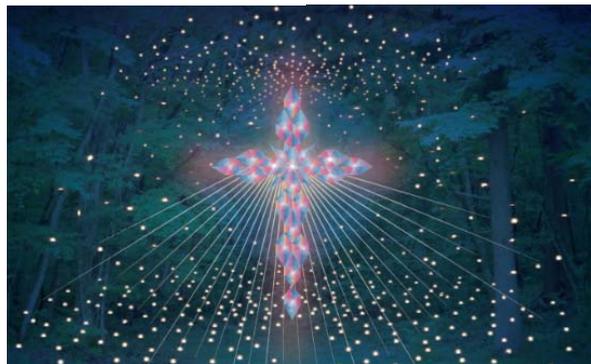
池の中にダイヤモンド形状(作品に登場する金剛石をイメージ)のオブジェ8体を設置。
池の奥に色とりどりに光る十字星の形状(作品に登場する北の十字をイメージ)の
オブジェを設置し後光と反射の光の粒で奥行きを作り銀河鉄道の夜を表現します。



※展開イメージ



エリア 4 オブジェイメージ(作品に登場する十字星をイメージ)

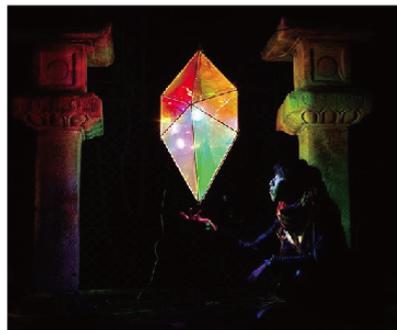


偏光フィルターを使用し南十字架星を表現
(サイズ約W2000×H3500mm)

エリア 4 オブジェ背景後光イメージ



エリア 4 池オブジェイメージ



池内設置オブジェサイズ
W450×H700mm程度

池の中にもオブジェを設置して蓮池のような
水面に写り込む光のオブジェを展開します。
池の左側ほとり部分に群生する水仙の中にも
オブジェを設置して自然の花々を演出に活用。

※詳細の設置方法は現場の状態や条件により変更になる場合があります
※基本計画から制作まで時間がない為、多少の仕様変更をする場合があります

芝生広場エリア 『どんぐりと山猫』

そのとき、一郎は、足もとでパチパチ塩のはぜるような、音をききました。びっくりして屈んで見ますと、草のなかに、あっちにもこっちにも、黄金いろの円いものが、びかびかひかかっているのです。よくみると、みんなそれは赤いずぼんをはいたどんぐりで、もうその数ときたら、三百でも利かないようでした。

わあわあわあわあ、みんななにか云っているのです。

「あ、来たな。蟻のようにやってくる。おい、さあ、早くベルを鳴らせ。今日はそこが日当たりがいいから、そここの草を刈れ。」やまねこは巻たばこを投げすてて、大いそぎで馬車別当にいつけました。

馬車別当もたいへんあわてて、腰から大きな鎌をとりだして、ざつくざつくと、やまねこの前のこの草を刈りました。そこへ四方の草のなから、どんぐりどもが、ぎらぎらひかかって、飛び出して、わあわあわあわあ言いました。

空が青くすみわたり、どんぐりはびかびかしてじつにきれいでした。

山猫は、どうも言いようがまづかった、いかにも残念だというふうに、しばらくひげをひねったまま、下を向いていましたが、やっとあきらめて言いました。

「それでは、文句はいままでのとおりにしませう。そこで今日のお礼ですが、あなたは黄金のどんぐり一升と、塩鮭のあたまと、どっちをおすきですか。」

「黄金のどんぐりがすきです。」

山猫は、鮭の頭でなくて、まあよかったというように、口早に馬車別当に云いました。

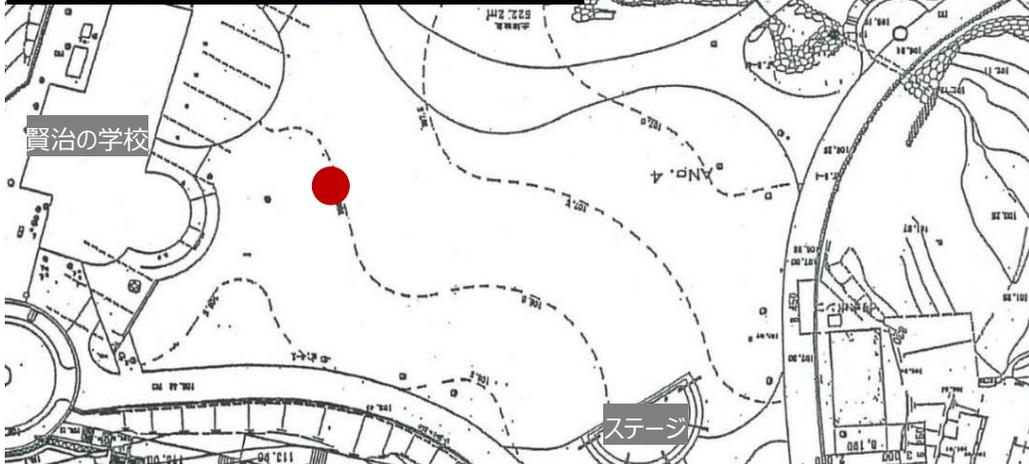
「どんぐりを一升早くもってこい。一升にたりなかつたら、めっきのどんぐりもませてこい。はやく。」



賢治の学校をバックにした芝生エリアでは『どんぐりと山猫』の世界感を演出します。どんぐりをモチーフに形状し内部が黄金に光るオブジェは作品の世界を連想させます。



※展開イメージ

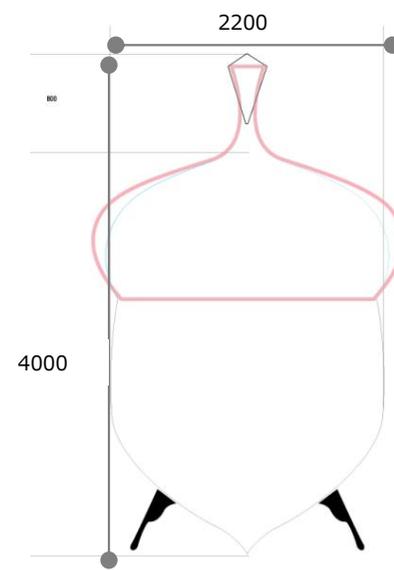


- 帽子部分内部にミラーボールを配置して、遠くからでもキラキラひかり輝くシンボリックなオブジェ
- 床面部分に盛り土をして、植物を植え、春・夏・秋と自然に草花にうまれて草むらにある宝物のようなイメージを展開
- キラキラ光るどんぐりの内部には偏光フィルターの蓮の華を咲かせます。外見のかわいらしさと内部の光り輝く美しさに宝ものイメージを一層強めます
- どんぐりの中には子供の視点で見つける事の出来る“隠れキャラクター”として猫を数匹配置してトレジャーハントのような発見する喜びを光の作品にプラスし、より親しみがわき『どんぐりと山猫』のお話の奥深さ、面白さを印象づける

オブジェ装飾イメージ



オブジェ素材イメージ



オブジェには写真に収めたくなる美しさ・魅力があり、携帯・スマートフォンでも綺麗に撮れるのでFaceBook、インスタグラム、ツイッターなどのSNSでの情報の拡散も大いに期待できます。

※詳細の設置方法は現場の状態や条件により変更になる場合があります
 ※基本計画から制作まで時間がない為、多少の仕様変更をする場合があります